

令和4年度尾張旭市一般会計予算

討論要旨 さかえ章演議員

今年度は森市長1期目の総仕上げの年ということになります。令和4年度予算当初予算は、最も大切な市民の命と暮らしを守るために感染症対策を引き続き最優先課題にしながらも、将来の発展を見据えたまちづくりも意識するなど、余すところなく配慮がなされた内容となっております。

そのため、一般会計の予算総額は前年度比で7%増という265億3,000万円、過去最大規模であります。現在を時代の大きな変革期というふうに捉え、次世代につながるまちづくりに向けた力強い一歩となる、そんな内容であることを高く評価したいと思います。

特に森市長のモットーであります「こどもは宝、健康は宝、幸せづくりは宝」に向けた政策は、一層磨きがかかったものになっているのではないかなというふうに思います。特に安全・安心な住みよいまちづくり、そしてポストコロナを見据えた地域経済のさらなる活性化、また、国のデジタル田園都市国家構想を踏まえたデジタル化の推進など、時宜にかなった内容が盛り込まれております。

また、昨年11月でしたか。我が令和あさひから、市長さんに提出をさせていただきました令和4年度予算編成に伴う要望書の幾つかの内容についても随所にこの予算案に盛り込んでいただきまして、深く感謝したいと思います。

具体的には、主に7つの分野について評価をさせていただきたいと思います。

まず1つ目ではありますが、感染症対策の分野においては、在宅療養者の生活必需品の支給とか陽性者の移送サービスほか、国保税の減免など、継続して市民の不安解消に努める姿勢がうかがえます。また、外出機会の減少に伴う心身機能の低下、これに対応するために、今度も元気まる測定をリニューアルして健康増進を図る取組。これは健康都市やデジタル化の推進にもつながるものと期待をいたしております。

次に、2つ目ではありますが、安全で安心なまちづくりの分野ですね。避難所環境や雨水排水施設の整備。近年の痛ましい交通事故を踏まえた危険度の高い道路の重点整備に加えまして、自転車道の整備なども盛り込まれております。市民の命を守るという市長の強い意思がうかがえると思います。

今度、3つ目ですね。子育て支援という分野におきましては、これは保育園や児童館の空調設備などの施設の環境改善だけではなく、多胎児支援とか、リフレッシュ時預かり事業の実施と子育て世代の孤立化を防ぐような取組も盛り込まれたことは、もう大変共感するところでございます。

また、4つ目ではありますが、教育の分野です。熱中症対策を推し進めるために、今度小中学校の特別教室ですね。これには空調設備整備を進めるだけ

ではなく、これまで市民の皆さんから要望がありました、あるいは議会からも議会質問がなされておりまして、そんな要望に応える形で総合体育館の空調設備の設置に着手するなど、市長が他市町村に先駆けて英断されたこと、これは高く評価したいと思います。

さらに、心のアドバイザー等による相談体制の充実についても、いじめ・不登校対策に一層の充実につながるものと期待をいたしております。

それから、5つ目、産業振興の分野であります。市内の事業者の取組を支援するために、小規模企業等補助金に新しくデジタルという時流に応じた区分を新設するだけではなく、事業者の流出防止、雇用創出に関する補助事業も盛り込むなど、大変意欲的な内容となっております。

さらに、6つ目であります。都市基盤整備の分野では、これは北原山土地区画整理事業とか、三郷駅周辺のまちづくり事業の促進のほか、長年の夢でありました印場駅のバリアフリー化、これはエレベーター3基がつくわけですが——の推進、引き続き計画的な整備が期待できるものとなっております。

最後に、7つ目、これはその他ということではありますが、カーボンニュートラルとか脱炭素社会など、環境と共生した持続可能なまちづくりを推進する予算、あるいはマイナンバーカードの普及促進とか、行政手続のオンライン化といった行政サービスの利便性向上に向けた予算なども幅広く盛り込まれておりました。

以上のように、この予算は新しい時代への第一歩を力強く踏み出していくと、そんな内容を感じますので、これを高く評価して賛同の意を表したいと思います。

これからも感染症あるいはウクライナはじめ、国際情勢非常に厳しくなっております。依然として不透明で不安定な状況ではございますが、ぜひ森市長におかれましては、本予算案をもって1期目の集大成ですね。集大成に向けて全力で取り組んでいただくことを大いに期待を込めて皆様の賛同をお願いし、令和あさひの賛成討論とさせていただきます。